文化の力で世界に貢献する京都の実現について

【担当省庁】内閣官房、内閣府、文部科学省、経済産業省

文化の都・京都の実現に向け、以下の措置を講じていただきたい。

- メディア文化(アニメ、映画、ゲーム等)のコンテンツが揃う京都の特色を生かした「太秦メディアパーク構想」の実現に向け、コンテンツ関連企業とクリエイターの集積を図っており、「クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業」などによる支援
- 映画、音楽、漫画、ゲームなど各業界団体や各ジャンルによる既存 のアワードと一線を画すジャンル・業界横断型の国際的公募表彰制 度の創設に向けた支援
- 令和7年5月に京都で初めて開催された国内最大規模の**国際音楽** 賞「MUSIC AWARDS JAPAN」及びその関連イベントについて、令和8 年度以降も京都で開催するよう働きかけをしていただきたい

京都府・京都市共同提案

- 令和8年度をターゲットイヤーに、オール京都体制で取り組む 「寛永行幸四百年祭」について、全国的な広がりのある取組とする ための協力や十分な財政的支援
- けいはんなオープンイノベーションセンター内に整備されたマンガ関連資料のアーカイブ研究拠点や「太秦メディアパーク」と、国において新たに整備予定の「メディア芸術ナショナルセンター(仮称)」との連携体制を構築するとともに、「メディア芸術連携基盤等整備推進事業」の十分な予算の確保
- 京都ならではの新たな夜の魅力や価値(ナイトカルチャー)の創出・ 発信を一層推進するため、「Innovate MUSEUM 事業」について、京 都文化博物館におけるナイトミュージアムの取組への十分な支援
- 日本のアート市場を活性化させ、アジアにおけるアート市場の中心を日本が担う状況を目指すため、世界有数の文化観光都市で開催する「Art Collaboration Kyoto (ACK)」を国際アートフェアである Art Basel と連携した「アートウィーク東京」と連動する形で、日本発の国際的なアートフェアとして育成するための財政的支援
- 文化財の保存修理・整備や防災施設整備、維持管理等に要する費用 負担が困難な状況において、<u>都道府県・市町村・文化財所有者等が</u> 実施する文化財の保存・活用の取組に対する支援の充実

京都府

文化生活部 文化政策室(075-414-4215)

文化芸術課(075-414-4216)

の担当課

商工労働観光部 産業振興課(075-414-4852)

教育委員会 文化財保護課(075-414-5896)

【国の事業等】

■概算要求〔文化庁〕

- ▶メディア芸術の創造・発信プラン 9.1億円 (令和7年度予算9億円)
- ▶クリエイター等育成支援 81 億円(令和7年度予算2億円)

メディア芸術クリエイター育成支援及びメディア芸術の国際発信等

- ▶メディア芸術連携基盤等整備推進事業 0.8億円(令和7年度予算0.8億円)
- ▶全国各地の魅力的な文化財推進事業(国際観光旅客税充当) 事項要求
- ▶国立文化施設の機能強化 355.8億円(令和7年度予算323.2億円)
- ▶博物館機能強化推進事業(Innovate MUSEUM 事業) 5.1 億円

(令和7年度予算2.7億円)

これからの博物館が新たに求められる社会的・地域的な課題への対応に先進的に取組む事業を支援

- ▶我が国アートのグローバル展開推進事業 1.4億円(令和7年度予算1.4億円)
- ▶国際観光旅客税を活用したより高次元な観光施策の展開(国際観光旅客税充当) 事項要求

【京都府の取組】

- ■文化連携推進事業 (令和7年度予算4百万円)
 - ▶オール京都の推進体制である文化庁連携プラットフォームで取り組む「寛永行幸 四百年祭」等のプロジェクトを推進する。
- ■太秦メディアパーク共創拡大事業 (令和7年度予算12百万円)
 - ▶太秦エリアにおいて、新たな産業創造拠点として情報関連産業に特化した都市型 のリサーチパーク形成を目指す。令和7年度には、時代劇の無形文化財登録に向 けた学術調査結果を踏まえた無形文化財登録に向けた活動を推進する。
- ■クロスメディアパーク整備事業 (令和7年度予算34百万円)
 - ▶映像を核としたクロスメディア産業の育成と府内への波及を図るため、拠点の整備、人材育成、国際ネットワークの形成等、府内に波及効果をもたらす事業を総合的に展開する。
- ■文化芸術振興事業(映像文化振興事業)(令和7年度予算 9.7百万円)
 - ▶府所蔵の映画フイルムと映画関連資料の保守管理・公開業務を行う。
- ■京都国際アート市場活性化事業 (令和7年度予算107百万円)
 - ▶世界各国のコレクターの来京を促す「京都国際アートフェア」等を開催し、京都で育てた作家が国際的に評価される仕組みを構築するとともに、京都の秋をアートで彩る取組を展開する。